

宇部幸楽苑広報紙

幸 楽 苑 だ よ り

1 2 月 号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和5年12月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522

心と体を動かすリハビリ

理学療法士 植田 洋平



私は宇部幸楽苑でリハビリテーション（以下、リハビリ）業務に携って17年になります。

当苑のような介護老人保健施設は維持期（生活期）のリハビリを担っています。病気やケガなどで在宅生活が難しくなられた方に対して心身機能や動作能力の維持・改善を図り、生活行為【日常生活行為（食事、排泄、入浴など）、家事行為（調理、掃除など）、職業上の行為、余暇活動に必要な行為（趣味など）】の維持・向上を目指していきます。

老健施設が行う生活期リハビリの特長としては、医師、介護、看護、リハビリ、管理栄養士、相談員、ケアマネージャーといった多職種が複合的に関わって行うチームリハビリであるという点です。われわれ専門多職種が、それぞれの視点で課題をみつけ、情報共有しながら課題解決にあたることで、利用者様の生活に合ったケアや支援を行えるように日々取り組んでいます。

リハビリ職としては、心身機能・動作

へアプローチする個別訓練と集団体操（写真①）を基本として、在宅生活へ向けては、自宅訪問を行い、環境・動作面での課題を明確にして生活環境を想定した訓練を実施していきます。気候のよい時期には、リハビリ職が中心となって苑外散策（写真②）を行い、気分転換を図るとともに、自動車への乗降や屋外移動の確認を行って外出時に必要な能力の維持に努めています。また、苑内でのレクリエーション行事にも積極的に関わり活動を通して心も体も動かす場面の提供を心がけています。

今後もご利用者様・ご家族様のお気持ちに寄り添いながら、支援させて頂きたいと思っています。



① 集団体操の様子



② 苑外散策（宇部空港）

《基本理念》

私たちはサービス提供者として、常に、地域社会における入所者様・ご家族並びに利用者の立場に立って考え、最善の行動を致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。



『秋(夏?)を感じて…』

理学療法士 永久 晃

十月に入っても夏日が続いており、少し個人的にウンザリしております。皆様はそんな中、いかがお過ごしでしょうか？

さて、当苑では毎年、この時季を迎えますと阿知須の道の駅に隣接するコスモス畑へと秋を探しに入所様と出掛けます。出来る限り、沢山の入所者様に秋を感じて貰いたいと思ひ、気合十分で臨みます。五日間の日程を組んでいざ、コスモス畑へと勇んで向かいます。

現地は海沿いで風を遮るものも何も無し！『入所者様に風邪でもこじらせては駄目だ！』と事前に用意した上着を羽織らせ意気揚々と現地へ…そこはまるで『夏』でした…



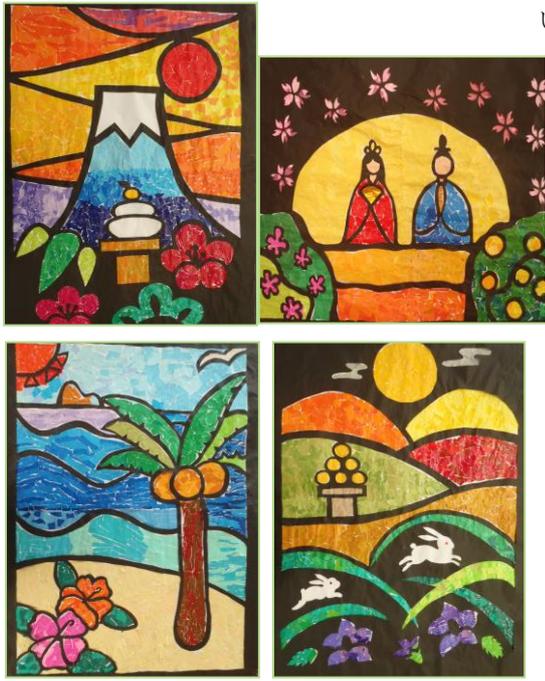
『芸術の秋』

当苑では、利用者皆様の日頃の活動の成果を発表する目的で、十月十一日に文化祭を行いました。

コロナ禍になる前は、利用者様方に食堂に集まっていたが、チームに分かれ、作品を作成していました。しかし、コロナウイルスが流行し、三密等の制限があり集まって作成ということが難しくなった為、個人で作品などを作成し展示しておりました。

個人で作成し展示という形でも、個々の個性が出たものが作れる事ができよかったのですが、達成感など作業の大変さを共有する目的もあり、約四年ぶりに皆様集まって作品を作りました。

今回は貼り絵をしました。作成したものをご覧ください。



『徒然なるままに…』

日々の疲れを忘れるために趣味であるお菓子作りを時々しています。達成感を感じたり、次はあれを作ってみたいな。とか、完熟したバナナがキッチンにいるなあ。と思えば、バナナケーキを焼いてみたい…。レシピにアレンジを加えて試行錯誤するのが楽しいです。職員に食べて貰って、『おいしかったよ！』とか、『また食べたい！』と言われると、調子に乗って沢山作ったりしちゃいます。十月にはハロウィンをイメージしてクッキーを焼いてみました。

〔介護福祉士 内田千鶴〕

